

「伝える」から「伝わる」 コミュニケーションへ

～魅力的なプレゼン資料の作り方～

国土交通省 大臣官房
広報課 広報戦略企画官
落合直樹

本題に入ります

第4次社会資本整備重点計画 《計画期間:平成27(2015)~32(2020)年度》 **資料1** **国土交通省**

第1章:社会資本整備をめぐる状況の変化と基本戦略の深化 <概要>

1. 社会資本整備が直面する4つの構造的課題

(1)加速するインフラ老朽化 (2)脆弱国土(切迫する巨大地震、激甚化する気象災害) (3)人口減少に伴う地方の疲弊 (4)激化する国際競争

国土形成計画(平成27年8月14日閣議決定)を踏まえ、その実現に向けて社会資本整備を計画的に実施

2. 持続可能な社会資本整備に向けた基本方針

社会資本のストック効果の最大化を目指した戦略的インフラマネジメントへ 社会資本のストック効果を最大限に発揮するためのマネジメントの戦略

①集約・再編を含めた既存施設の戦略的メンテナンス

- ・メンテナンスサイクルの構築による老朽化インフラの安全性の確保
- ・中長期的にライフサイクルを縮短・平準化(集約化等による規模の適正化を含む)
- ・メンテナンス産業の競争力強化

②既存施設の有効活用(賢く使う取組)

- ・既存施設の機能の最大化(例:羽田空港における飛行経路見直しによる滑走路幅員拡大等)
- ・既存施設の機能の進化・高度化(例:公共住宅における集約等に伴う福祉施設の設置等)
- ・既存施設の多機能化(例:下水処理場の上層空間を活用した発電施設の設置等)

③社会資本の目的・役割に応じた選択と集中の徹底(優先度や時間軸を考慮)

<p>安全安心インフラ</p> <p>南海トラフ・首都直下地震や局地化・集中化・激甚化している雨の降り方への対応等、ハード・ソフトの取組を総動員し、人命と財産を守る事業に重点化</p>	<p>生活インフラ</p> <p>地域生活サービスの持続的・効率的な提供を確保し、生活の質の向上を図る事業に重点化</p>	<p>成長インフラ</p> <p>国際戦略による競争力強化、民間事業者等との連携強化を通じ、生産拡大効果を高める事業に重点化</p>
---	--	---

時間軸の明確化 ・中長期的(おおむね10~20年)に目指す姿、計画期間中(H32(2020)年度まで)に進める重点施策と実現すべき数値目標等を策定

経済再生と財政健全化 ・2017年度の消費増税前後を含め、2020年、そしてそれ以降への安定成長を支え、経済再生と財政健全化に貢献

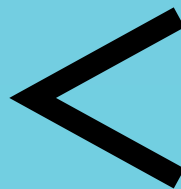
PPP/PFIの積極活用

<p>社会資本整備を支える現場の担い手・技能人材に係る構造改革等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の守り手である現場の担い手・技能人材の安定的な確保・育成 ○現場の生産性向上による構造改革 ○公共工事の品質確保と担い手確保に向けた若手者による取組の推進 ○社会資本整備に関わる多様な人材の確保・育成(メンテナンス、PPP/PFI等を担う人材) 	<p>安定的・持続的な公共投資の見通しの必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○過去の公共投資の急激な削減は、様々な弊害(不適格業者の参入やダンピングの多発、人材の離職等)をもたらしてきた ○メンテナンスを含めた社会資本整備を計画的かつ着実に実施し、担い手を安定的に確保・育成するため、持続的な経済成長を支えられるよう、経済規模に見合う公共投資を安定的・持続的に確保することが必要
--	---

チャージングな資料づくりとは？

「見た目」か「中身」の問題か

見た目
(how to say)



中身
(what to say)

インフォグラフィックス
✓インフォメーション
✓グラフィッカル

コンテンツドリブン

何のために、

頼れる国交省、誇れる国交省（ブランド化）



日本一スマートなコミュニケーションスキルをもつ官庁を目指そう！
「伝える」だけでなく、「伝わる」コミュニケーションへ

- ✓ 会見や答弁
- ✓ プレゼンスキル
- ✓ チャーミングな資料
- ✓ プレスリリース（報道）
- ・
- ・



実態：過去の「悪玉」イメージの完全払拭

✓ ジョブスをマネれば「伝わる」のか？

民間
企業

官公庁

コミュニケ-ション
の会社

誰もが「伝わらない」と悩んでいる

コミュニケーションの本質

誰？

さまざまな「相手」

どんなことを
考えている人ですか？

「相手」に合わせた球を投げる。

「発信」「受信」、会話、やりとりであり、
キャッチボール。

コミュニケーション=キャッチボールで重要なこと

情報の送り手

情報の受け手

「何が言いたいか」

「何を、聞きたいか」

受け手の「関心」や「問題意識」をふまえて、「イイタイコト」を伝える。

「伝える力」とは・・・

何を伝えるべきかを
相手の立場に
立って、

そのうえで、
自分らしさを出して
伝える。

送り手の「ひととなり」を表す。
✓プレゼン(パフォーマンス)
✓企画書やプレゼン資料

「考える力」と「伝える力」

行政（官公庁）

歴史的・役割的
「考える力」
に重き？

できあがった政策や法案

**黙っていても、
自然に浸透していく？。**

「考えること」 > 「伝えること」

国や国民のために何が必要か、
政策や法案を考えぬく。

自分（関係者内）で成立

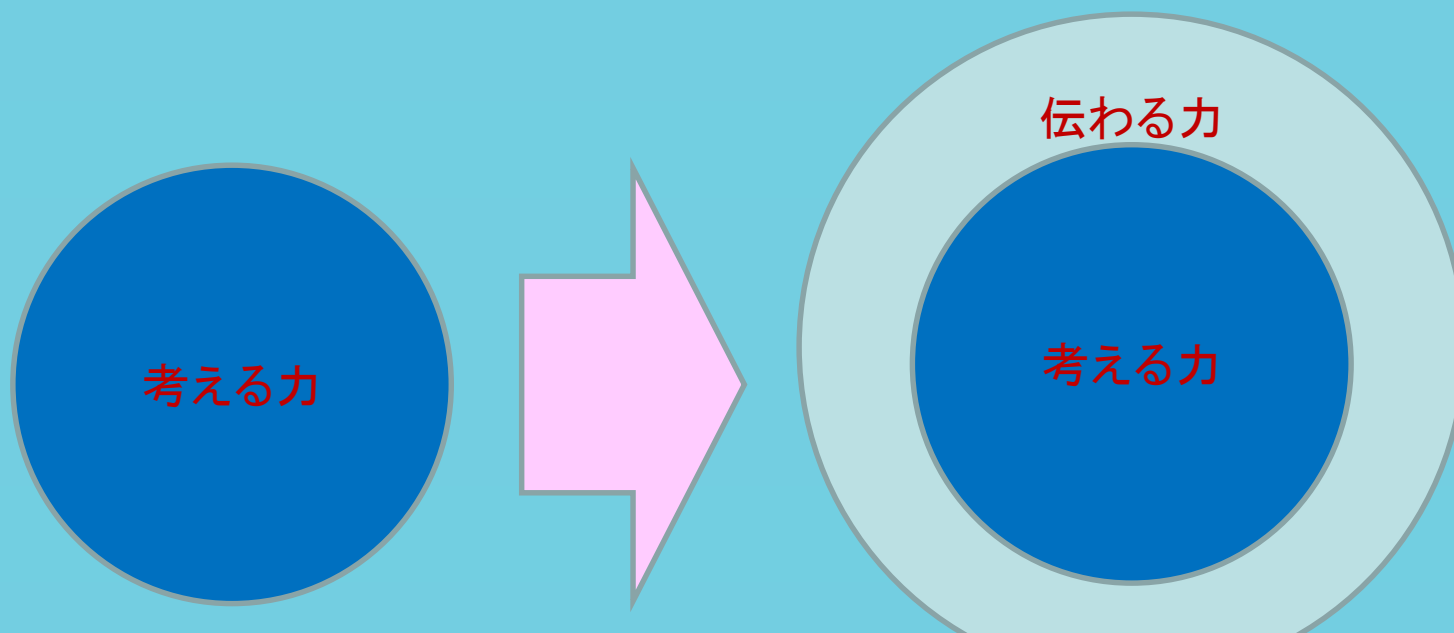
✓ 自己完結

✓ 他者や周囲にとっては見えづらい

「伝える力」
相手が存在して成立
(キャッチボール)

「伝わる」力は

- 「伝わる力」と「考える力」は別モノではなく、
- ✓ 伝えたいメッセージが何かを明確に「考え」（整理）、
 - ✓ 相手が置かれている状況を「考え」ながら伝える。



「考える力」の応用編

参考文献: 上田正仁著「東大物理学者が教える「伝える力」の鍛え方

「政策・法案づくり」と「コミュニケーション」

政策・法案づくり

「正確性」
「網羅性」
「実現性」

・
・
・

WE CAN (do)

応用
変換

コミュニケーション

「おもいやり」
「わかりやすさ」
「納得性」 ≠ 説得

・
・
・

YOU CAN

「コミュニケーション」は応用

読む気にさせる伝え方

説明資料とプレゼン資料は違う

✓ 作り手:

「多くの情報を伝えたい」
「あれもこれも言いたい」

✓ 読み手:

「サッと読み終わりたい」
「パッと内容をつかみたい」

プレゼン資料は「見て」わかる

✓ 細かな解説を行う説明資料
「読んで」理解する

✓ 読み手を動かしたいプレゼン
資料は「見て」伝わる

✓ 受け手の力を借りる

(1) 伝えたいメッセージ(話の幹) を、
(2) 「最短距離」で示す
(論理的・わかりやすい道筋)

⇒ 受け手の脳を活性化し心に直接訴える

✓ 「何を言うか」

= 「何を言わないか」を考え決めること
「言わない」≠捨てる(封印)

⇒ 資料や想定問答へ

✓ 書いてみる

- 1枚の紙に手書きで「1分1枚スライド」
- 言葉(文章)で表現する

そのために考えること

受け手に「自分ごと」として受け取られるか、が鍵

✓ ターゲットの興味・関心

✓ 情報発信の「整理」

✓ 「文脈」(ストーリー)

ターゲットをしぼる
という視点が必要

↓
興味・関心にあわせて
情報を整理

↓
テクニックも活用

ターゲットによって

第4次社会資本整備重点計画

1. 社会資本整備、直面する課題

- (1) 加速するインフラ老朽化
- (2) 脆弱国土
(切迫する巨大地震、激甚化する気象災害)
- (3) 人口減少にともなう地方の疲弊
- (4) 激化する国際競争

2. 基本戦略

- (1) 戦略的インフラマネジメント
 - ① 既存施設の戦略的メンテナンス
 - ② 既存施設の有効活用(賢く使う取組)
 - ③ 目的・役割に応じた選択と集中
(安全安心・生活・成長)
- (2) 現場の担い手・技能人材関連構造改革
- (3) 持続的公共投資の見直しの必要性

ターゲット
↓
**地方
創生に
関係
する
ひと**

第4次社会資本整備重点計画

1. 社会資本整備、直面する課題

- (1) 加速するインフラ老朽化**
- (2) 脆弱国土
(切迫する巨大地震、激甚化する気象災害)
- (3) 人口減少にともなう地方の疲弊**
- 4) 激化する国際競争

基本戦略

- 1) 戦略的インフラマネジメント
 - ① 既存施設の戦略的メンテナンス**
 - ② 既存施設の有効活用(賢く使う取組)
 - ③ 目的・役割に応じた選択と集中
(安全安心・生活・成長)**
- (2) 現場の担い手・技能人材関連構造改革**
- (3) 持続的公共投資の見直しの必要性

伝える優先順（見え方）が変わる

ターゲットによって

第4次社会資本整備重点計画

1. 社会資本整備、直面する課題

- (1) 加速するインフラ老朽化
- (2) 脆弱国土
(切迫する巨大地震、激甚化する気象災害)
- (3) 人口減少にともなう地方の疲弊
- (4) 激化する国際競争

2. 基本戦略

- (1) 戦略的インフラマネジメント
 - ① 既存施設の戦略的メンテナンス
 - ② 既存施設の有効活用(賢く使う取組)
 - ③ 目的・役割に応じた選択と集中
(安全安心・生活・成長)
- (2) 現場の担い手・技能人材関連構造改革
- (3) 持続的公共投資の見直しの必要性

ターゲット
↓
**災害に
関係する
ひと**

第4次社会資本整備重点計画

1. 社会資本整備、直面する課題

- (1) 加速するインフラ老朽化**
 - (2) 脆弱国土**
(切迫する巨大地震、激甚化する気象災害)
 - (3) 人口減少にともなう地方の疲弊
 - (4) 激化する国際競争
- 基本戦略
- (1) 戦略的インフラマネジメント
 - ① 既存施設の戦略的メンテナンス
 - ② 既存施設の有効活用(賢く使う取組)
 - ③ 目的・役割に応じた選択と集中**
(安全安心・生活・成長)
 - (2) 現場の担い手・技能人材関連構造改革
 - (3) 持続的公共投資の見直しの必要性**

伝える優先順（見え方）が変わる

まだある、いろいろ「テクニック」

わかりやすく、「**見せる**」資料のポイント

- ✓ **字数を減らして文節を短く**
- ✓ **箇条書き**
- ✓ **ポイントは「3つ」にまとめる**
- ✓ **気持ちを引きつける見出し・タイトル**
- ✓ **内容を表す「キャッチコピー」**

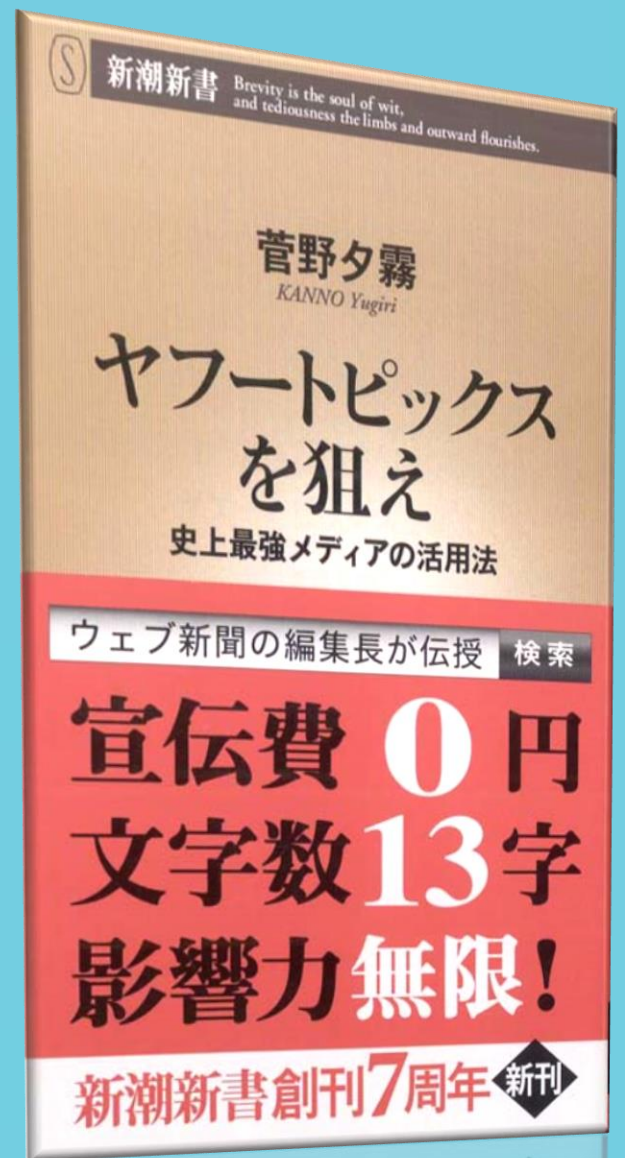
おもしろ「テクニック」①

概要	
ポイント	

黄金比「約1.618:1」

参考文献: 渡辺克之著「伝わる・通る ビジネス資料作成術」

おもしろ「テクニック」②



キーメッセージは13文字以内

おもしろ「テクニック」③

- ・ 人の視線は一般に「上から下」「左から右」
- ・ グラフや表は「左」、メッセージは「右」



視線の「導線」は「Z」

参考文献: 渡辺克之著「伝わる・通る ビジネス資料作成術」他

実践してみました

〈留意した点〉

- ✓ 全体の単なる要約ではなく、
会議の趣旨に立ち、読み手にとって重要だと思えること。
- ✓ キーポイントをわかりやすく。
- ✓ チャート化、目の導線（Z）フローを意識。

エグゼクティブ・サマリー

【I】社会資本整備 基本戦略の深化<概要>

1. 直面する4つの課題

- (1)インフラ老朽加速
- (2)巨大地震、激甚気象災害
- (3)人口減少・地方疲弊
- (4)激化する国際競争

「国土形成計画」
(H 27 .8.14閣議決定)

2. 基本方針

(1) 「ストック効果」の最大化目指した戦略的なマネジメントへ

①集約・再編を含むメンテナンス

- ✓安全性確保 (メンテナンスサイクル)
- ✓トータルコストの縮減・平準化
- ✓メンテ産業の競争力強化

②既存施設の有効活用～「賢く使う取組」～

- ✓**最大化** (羽田空港経路見直し⇒能力拡大)
- ✓**高度化** (公営住宅の集約⇒福祉施設設置)
- ✓**多機能化** (下水処理上の上部空間利用による発電設備等)



<方法論として>

- 時間軸の明確化
 - ✓中長期(目指す姿)
 - ✓計画期間(KPI)
- 経済再生・財政健全化
双方への貢献
- PPP/PFIの有効活用

③目的・役割に応じた「選択と集中」の継続

安全安心 インフラ	(南海トラフ、首都直下、激甚気象対策) ⇒ハード・ソフト双方で総動員、人命・財産守る事業
生活 インフラ	(地域生活サービスの持続的・効率的提供) ⇒生活の質の向上図る事業
成長 インフラ	(国際戦略による競争力強化、官民連携強化) ⇒生産拡大効果高める事業

(2) 現場の担い手・技能人材関連の
構造改革

(3) 安定的、持続的な公共投資の必要性

ニュースリリースは

- **要件①: 文脈(ストーリー)**
世の中の流れにのるためのきっかけ。
- **要件②: NEWS性**
常に、エビデンスとFACTが求められる。
- **要件③: インパクト**
報道のフックとなる仕掛けがあるか。ネタづくり。

PR IMPAKT

- I**nverse ... 逆説、対立構造
- M**ost ... 最上級、初、独自
- P**ublic ... 社会性、地域性
- A**ctor /Actress... 役者
- K**eyword ... キーワード、数字
- T**rend ... 時流、世相、季節性

Copyright© DENTSU INC. All Rights Reserved

情報を「整理」「料理」する

記者の立場に立つと

- * 報道には「紙面」や「時間」に制約
⇒記者の報道意欲を刺激するような内容、
仕掛けを意識することが必要。
- * 記者は取材や締め切りに追われいつも多忙
⇒資料を見ただけで価値ある情報と、
理解してもらおう。

作り方も変わる

留意したい5箇条

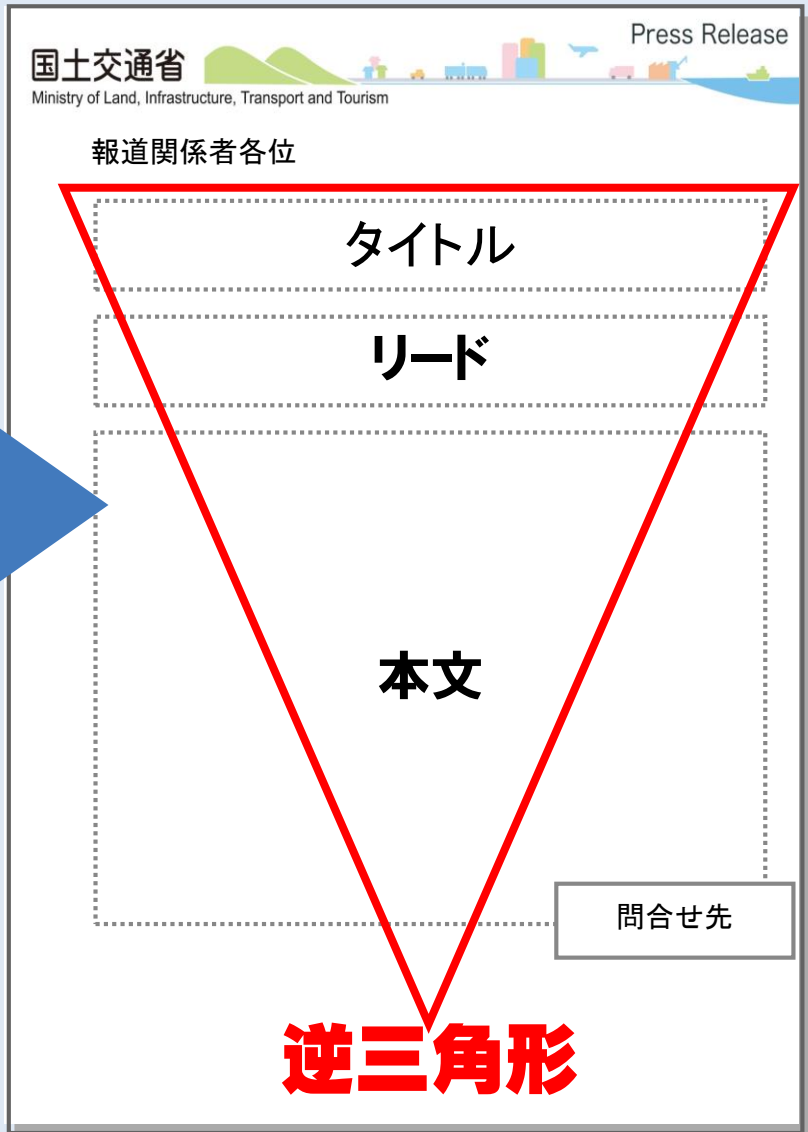
- * **見出し**（タイトル）が重要
- * 素人でもわかる内容とすること
- * 発表の「**ウリ**」を明確にすること（独自、初モノ）
- * **データ（数字）**の活用、強調
- * 「**絵になる**」シーンを用意（とくにTV）

見出しと最初の一段落（リード：2～3行）が勝負。

構成は「逆三角形」で

タイトル下のリード文で、
①発信者を主語に5W1H。
本文は、リード文で目的語になっていた
②政策、事業などを主語に、
以下、スペックやサービスイメージ(画像)・・・

- ① インパクトあり、明快な見出しを頂点に、
 - ② リリースの核心に触れる
(エッセンスを凝縮) リード、
 - ③ 背景や経緯、特徴を紹介した本文
- 重要な要素から順番に、「逆三角形」。
- 結論を先に。「結、起承転」の順。
- 途中でやめても、ポイント伝わる。



2015年9月18日

国土交通省

【仮】

**「ストック効果」の最大化目指した「第4次社会資本整備重点計画」を策定
～経済再生と財政健全化への貢献目指す～**

国土交通省はこのたび、2015年から2020年までの6年間の社会資本整備に対する基本方針と重点施策を策定しました。今回（第4次）の見直しでは、激変する環境変化に対応し、①集約や再編による施設の整備、②既存施設を「賢く使う」取組、③「安全安心」「生活」「成長」に関するインフラの目的や用途に応じた「選択と集中」整備など、ストック効果の最大化をより追求した戦略的なマネジメントを強化します。

わが国における社会資本整備を取り巻く環境は、インフラの老朽化や気象災害の激甚化、巨大地震の切迫など、大きく変化しています。また、人口減少にともなう地方の疲弊や国際競争の激化なども喫緊の課題です。こうしたなか、厳しい財政状況のもとで、

わが国における社会資本整備を取り巻く環境は、インフラの老朽化や気象災害の激甚化、巨大地震の切迫など、大きく変化しています。また、人口減少にともなう地方の疲弊や国際競争の激化なども喫緊の課題です。こうしたなか、厳しい財政状況のもとで、社会資本のストック効果が最大限に発揮されるよう見直しを行いました。

具体的には、4つの重点目標と13の政策パッケージを設定し、施策とその進捗を示す指標（KPI）を明確化しました。また、現場の担い手・技能人材の安定的な確保や現場の生産性向上などに向けた方策を定めたほか、安定的で持続的な公共投資の見通しの必要性を明らかにしました。

こうした社会資本整備の重点的な計画により、将来にわたっての安全・安心で豊かな国民生活と活力ある社会経済活動を実現し、わが国の重要課題である、経済再生と財政の健全化に貢献してまいります。

以上

<報道関係お問い合わせ先>

国土交通省 ○○局○○課

担当：○○、○○（03-5253-****、○○携帯 090-****-****）

ニュースリリース

ひとを「動かす」コミュニケーション

目標・課題・課題解決策の3つが必要

戦略: 目標に到達するための構想



Copyright© DENTSU INC. All Rights Reserved

パーセプション per*cep*tion

- ・ 辞書的定義は「知覚・認識」
- ・ 生活者が主観的に認識している様子
- ・ 消費者の頭の中で考えられている現実。
思い込みや誤解、イメージ、ポジションなど。

4つの要素 (TPCM)

ターゲット (Target)

T

コミュニケーションの相手は誰か？

パーセプション (Perception)

P

その対象（政策や事象）に対して、
ターゲットはどんな認識を持っているか？
認識がどう変わればよいのか？

コンテンツ (Contents)

C

そのためにはなにを伝えればよいのか？
メッセージ・デザイン

ミーンズ (Means)

M

どんな経路（コンタクト・ポイント）で伝えればよいのか？
メッセージ・デリバリー

事例（気象庁の災害注意勧告）

平成23年台風第12号の際の呼びかけ

予報官の危機感

奈良県では、南部を中心に、土砂災害や浸水害、河川のはん濫に**最大級の警戒**が必要です。

奈良県では、南部を中心に断続的に非常に激しい雨が降っており、降り始めからの総雨量が南部の**多いところ**では**1700ミリ**を超えているところがあります。

伝わらない



市町村

台風が遠ざかるので大雨は終息する
多いところってどこ？
1700ミリってどのくらい？
忙しくて情報をゆっくり読んでいる時間がない

平成23年度政策レビュー

主な課題

- 地域防災計画への記載が不十分。また、情報が想定する防災対応と地域防災計画への記載が必ずしも一致しない(警報で自主避難等)という状況となっている。
- 記録的な大雨となる段階で状況の切迫性が十分に伝わっていない(平成23年台風第12号)との課題も明らかとなった。



今後の対応方針

- 住民の防災行動の観点から情報の体系を検証し、防災行動の各段階により適合した防災気象情報となるよう改善。
- 重大な災害をもたらす記録的な大雨等の現象が発生もしくは予想される場合に、よりの確に自治体および住民に伝わるよう改善。

具体的な改善策

現行完全形式

(見出し) 大型の台風第12号は、山陰沖をゆっくり北上しています。奈良県では、南部を中心に、土砂災害や浸水害、河川のはん濫に最大級の警戒が必要です。

(本文) 大型の台風第12号は、4日6時には山陰沖の北緯35度50分、東経133度40分にあつて、1時間におよそ10キロの速さで北へ進んでいます。中心の気圧は992ヘクトパスカル、最大風速は23メートル、最大瞬間風速は35メートルで、中心の北東側750キロ以内と南西側560キロ以内では、風速15メートル以上の強い風が吹いています。

奈良県では、南部を中心に断続的に非常に激しい雨が降っており、降り始めからの総雨量が南部の多いところでは1700ミリを超えているところがあります。広い範囲で土砂災害の危険度の高い状態が続いています。

台風の動きが遅く、4日昼過ぎにかけて非常に激しい雨の降る所があります。土砂災害や浸水害、河川のはん濫に最大級の警戒が必要です。

発達した雨雲の近くでは、竜巻などの激しい突風が発生するおそれもありますので注意して下さい。また、4日昼前にかけて強風に注意して下さい。

[雨の実況] 降り始めの8月30日18時から9月4日6時までの総降水量(アメダス速報値)は、主なところで、

上北山村小椽	1737.0ミリ	十津川村風屋	1315.5ミリ
天川	1023.0ミリ	曾爾	761.0ミリ
十津川村玉置山	699.0ミリ(3日23時30分から欠測)		
吉野	493.0ミリ	宇陀市大宇陀	300.0ミリ

[雨の予想] 4日に予想される1時間降水量は、多いところで 北部 20ミリ 南部 60ミリ

4日6時から5日6時まででに予想される24時間降水量は、多いところで、 北部 100ミリ 南部 250ミリ

[防災上の警戒事項] 土砂災害、浸水害、河川のはん濫

[防災上の注意事項] 強風、落雷、竜巻などの激しい突風 最新の台風情報や、気象台の発表する警報、注意報、気象情報に留意して下さい。

ここぞと言うときに短文形式

(見出し)
〇〇豪雨に匹敵する大雨となっています。

(見出し)
3日間の雨量が、この地域での1年分の雨量になっています。

(見出し)
これまでに経験したことのない大雨となっています。



(見出し)
明るいうちに避難、身の安全の確保をしてください。



1分で振り返りましょう。

- ・プレゼン資料、企画書何であれ、

すべてはコミュニケーション

⇒**受け手の立場**に立って、

何を言いたいかを、政策、法案づくり同様に、

よく「考え」て「伝える」

⇒**ターゲットを想像（考えて）し、**

言いたい内容を整理して、あとは印象的に。

⇒テクニックは、受け手・自分にあったものを。

意識改革から

情報発信（プレゼン・資料）に対する、
保守（守り）的な対応

テクニック
だけでなく...



ちょっとした
ことから...

国民に対する、
より良い行政サービス提供のためのツール

最後に

Keyword: [トリプルメディア]



ペイドメディア (Paid Media)

- = 購入するメディア
- * マス広告
- * 編集タイアップ (アドバタイジング)
- * OOH(屋外広告等)
- * WEBのバナー広告

オウンドメディア (Owned Media)

- = 所有するメディア
- * 自社サイト
- * 本省(局)・事務所
- * メールマガジン
- * 商品パッケージ
- * 職員・従業員

アーンドメディア (Earned Media)

- = 信頼や評判を得るメディア
- * テレビ番組
- * 新聞・雑誌などの記事
- * WEBニュース
- * 口コミ(WOM)
- * SNS (Twitter、facebook)等

最適なメディアを組み合わせ、効果的に「伝える」。

国交省HPの「政策チャンネル」を核に、コンテンツ拡充



ソーシャルメディアも取り込んで統合的に運用（推進中）

ツイッターへの取組

国土交通省
@MLIT_JAPAN

国土交通省公式アカウントです。国土交通省ホームページの新着情報を中心に、国民の皆さまにお知らせしたい情報を発信しています。

東京都千代田区
mlit.go.jp
2012年5月に登録

ツイート 1,020 フォロー 28 フォロワー 89,739 お気に入り 6

内閣官房 @Naikakukanbo - 10月9日
【職員紹介】「地域の人たちの生活の一部に。人とまちを結び、道路をつくる。」ダイナミックかつ繊細。工事現場の最前線で感じる仕事のやりがいとは? ⇒ twme.jp/cas/00FI



16 19

国土交通省 @MLIT_JAPAN - 10月9日
【#東京湾 大感謝祭～感じて、学んで、味わう2日間～】
10/24・25、#横浜 #赤レンガ 倉庫で開催。
汽笛の斉吹鳴や、#釣り 体験教室、#ハイブリッド 電池推進船の乗船体験など...
夕から「アテンザ」ICX-5」IAクセル届出がありました。使用者ダイレクトメール等で通知さか改善措置を受けて下さら

ツイート 991 フォロー 28 フォロワー 81,898 お気に入り 6

【シリーズ国土交通人】
「#読書の秋」がやってきました。本が好きなあなたも歴史的建築物が好きなあなたも一緒に。「#芸術の秋」も満喫できます。国際子ども図書館の歩みを。
mlit.go.jp/sogoseisaku/ch...



19 13

10月1日
夫?
迅速、確実に行うため自動車不具合情報を収集
チャイルドシートに異常を感じたら
mlit.go.jp/jidosha/carinf...

クルマの不具合情報をお寄せ下さい
自動車不具合情報
ホットライン
とリコールしたり、メーカーのリコール隠しを防ぐために活用します。

0120-744-960 (年中昼夜・24時間)
(オペレータ受付時間 早9:30～12:00 13:00～17:30)

【ご留意】商品名や金額に変わる場合がございます。詳しくはよくあるお問い合わせをご覧ください。

アカウント名：国土交通省
アカウントID：@MLIT_JAPAN
運用開始：2012年11月22日

<2015年10月22日現在>

フォロワー数：**91,355**

ツイート数：1,027件

ツイート頻度：1件／日 程度

発信している情報：

- ・報道発表等ホームページ情報中心
- ・災害時等の緊急時における
国交省の対策関連情報、防災情報、
政策紹介、イベントや提案募集の告知、
その他お役立ち情報
- ・各部局情報、他省庁リツイートにも対応

積極的なコミュニケーションは、

アンテナは高く、姿勢は低く

良い行政サービスを実現するための力強い味方。